



No.019

能登北部地域医療研究所

のとけんだより



のと里山空港 航空機事故を想定した消火救難訓練に研修医が参加!!

航空機事故を想定した総合訓練が平成 26 年 7 月 24 日(木曜日)午後 5 時からのと里山空港(輪島市三井町洲衛 10-11-1 / <http://www.noto-airport.jp/notosypher/www/index.jsp>)で行われた。

同空港管理事務所からの知らせを受け、救助工作車や化学消防車、水槽車、救急車など車両数十台が急行。放水の後、県警機動隊や同消防局救急隊員が日本航空学園所有 YS-11 を使用して同機内から負傷した約 24 人を担架で救出、災害時に被災地に赴く緊急医療チームの医師や看護師が手当てした。

金沢医科大学能登北部地域医療研究所からは、中橋毅教授(指導医)、小原巨太郎研修医(聖マリアンナ医科大学病院)、久保田龍一研修医(金沢医科大学病院)、飯田宏美研修医(大阪市立総合医療センター)が公立穴水総合病院チームに加わり、胸部外傷患者、右下腿切断患者、眼球破裂患者、脊椎捻挫患者などの模擬患者に対する救急処置とトリアージ、各医療機関への搬送訓練に参加した。

【初期臨床研修指導を航空災害訓練の中で実施!】



久保田研修医(金沢医大)



飯田研修医(大阪総合医療センター)



小原研修医(聖マリアンナ医科大学病院)

今回参加した 小原巨太郎研修医(聖マリアンナ医科大学病院)、久保田龍一研修医(金沢医科大学病院)、飯田宏美研修医(大阪市立総合医療センター)3名は、現場で冷静にトリアージされた患者さんを迅速に診察・治療をしていた。

研修医からは、空港内での災害訓練に参加することはめったにないことなので今月、公立穴水総合病院(石川県鳳珠郡穴水町)で地域医療研修ができたことはとても幸運だった。実際の現場に遭遇し、同時に大量の重症患者さんが押し寄せた場合は、訓練どおり対応できるか心配なところはありますが、今回の大規模訓練は、私達にとって貴重な研修の機会となった。」と感想を述べていた。



〇問い合わせ(濱中・橋本・濱崎)
能登北部地域医療研究所(公立穴水総合病院内)
電話 0768-52-0655 FAX0768-52-0658
E-mail ccm@kanazawa-med.ac.jp
〒927-0027 石川県鳳珠郡穴水町川島タ-8